

土の上や土の中の生き物を探そう

時 期 春～秋

時 間 1～2時間

場 所 園庭

- 土の上や土の中の生き物を探す。
- 土の感触を味わったり生き物に触れたりする。

ねらい

- 親しむ
- ・身近な生き物を見たり触れたりしながら、生き物への興味や関心を育てる。
 - ・積極的に発見したり探索したりする態度を育てる。

幼児



活動展開例

準備物	・ミニスコップ ・ポリ袋 ・生き物図鑑		
展 開	時間	活動内容	留意点
	事前	○朝の集まりの時間に、クイズ「ミミズのアタマはどっち？」をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に生き物を探してみ、図鑑で名前や生態などを調べておく。 ・身近な生き物への興味や愛着がもてるようにする。
	40分	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園・保育所や家のまわり、裏庭などの石を裏返したり地面を掘ったりして生き物を探す。 ○生き物をつかまえたり、見せ合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探す場所は幼児にまかせる。 ・教師も一緒に探しながら、生き物の生態などについてさりげなく伝える。
	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○探した生き物について、教師や友達、家の人と話す。 ・こんな所に住んでいたんだよ。 ・何を食べているのかな？ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・土の中の生き物の役割や様子について絵本などを見ながら一緒に考えられるようにする。 ・採取した生き物をどうするかについては、幼児に考えさせ、可能な限り、幼児の意見を取り入れる。 ・土や生き物に触れた後は、きれいに手を洗うように声をかける。
事後	○生き物を飼育ケースに入れてならば、生き物ランドを作ったり、採取した生き物のクイズを考えたりして楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物ランドを作りながら生き物が好む環境についても触れ、命の大切さにも気付けるようにする。 	

活用ガイド

ミニミニ虫取りあみ

小さな虫取りあみに子どもたちは大興奮！
大好きなアリやダンゴムシ、トンボを夢中でつかまえようとする
子どもたちの姿を見ると、うれしくなりますよ！！

●用意するもの

- ・竹などまっすぐな棒
- ・針金（写真のものはステンレス）
- ・台所の流し排水溝用ネット

用意するもの



●作り方

- ①竹の先端（横方向）に、キリ等で穴を開ける。
（針金を通すため）
- ②開けた穴に針金を通し、同時に排水溝用ネットを針金で縫うように通していく。
- ③排水口用ネットが適当な大きさになるように針金で押し広げながら調整する。
- ④余った針金を竹に巻きつけて固定させ完成。
（余分な針金は切る）

完成！！



幼児



どっちが、アタマ？



上のミミズの写真。
右がアタマ？左がアタマ？

こんな不思議を子どもたちと話し合ってみてはいかがでしょう？
おもしろい答えがでてくるかもしれませんね。

正解は??

リングのような模様が
ついている方がアタマです。

どこ通る？

スタートとゴールの真ん中左にはトンネルがありますが、右は何もありません。



これは、「ダンゴムシはトンネルがあるほうとないほう、どちらを通りゴールするか？」の実験ボックスです。
ダンゴムシ約10匹をスタートに置くと、ダンゴムシはどんな行動をするのか。

子どもたちも興味津々、応援する子がいたり、ジッと見ている子がいたり。一緒に観察し、楽しみましょう。